

平成27年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 (最終))

呉市立明德中学校区 校番22 呉市立明德中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	どの中期経営目標及び短期(今年度)経営目標、指標も昨年度までの成果と課題を丁寧に整理、分析し、適切に設定している。特に、生活リズムカードの3点固定(起床・就寝・家庭学習)の目標について、今年度は学年ごとに設定しているが、学年実態に沿った適切な目標設定である。また、他の指標についても、学力調査や体力調査、生徒・保護者へのアンケート等により、総合的な実態把握に努めており、適切であると考え。
目標達成のための方策の適切さ	B	小学校と連携し、授業改善の視点や学習ルール徹底、ノートの書き方等について、共通理解を図りながら取組を進めているのは評価できる。しかし、家庭学習の徹底や基本的生活習慣の確立に向けて、具体的な取組がまだ不十分に思われる。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	学力調査や体力テストの結果について、全国や広島県全体と比較し、ていねいに分析を行い、自校の課題に迫っている。しかし、学習に対する意識及び生活習慣と学力結果との相関関係について、さらに個別に分析していく必要がある。また、生徒の自尊感情や自己肯定感等の育成にかかる取組について、さらに多様な効果の見取りを行う必要があると考え。
今後の改善策(案)の適切さ	B	学習習慣や生活習慣について、全体指導だけでなく保護者と連携しながら、個別指導をより綿密に計画的に行っていく必要がある。また、宿題を提出しにくい生徒に対して放課後や昼休憩等を活用して、徹底してやりきらせていくことが必要である。また、体育の授業と部活動の指導を結びつけるだけでなく、部活動の中で年間を通して、体力テストの課題に迫るトレーニングを継続して行っていく必要がある。
その他		小学校で学習した地域に関する内容について、中学校でも総合的な学習の時間等でうまくつなげて学習させてほしい。また、総合的な学習の時間に作った地域の食材を利用したお菓子等を、地域行事等でしっかり宣伝してほしい。また、体力面については音楽部も運動部と連携して、持久走を取り入れるなどして基礎体力を向上させてほしい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>学力調査の結果や課題を全教員で共有し、全教科及び領域で改善策を着実に進めていく。また、帰りの会でのドリルタイムについて、生徒の集中力をさらに高め、基礎学力を定着させていく。そして、家庭学習の習慣が十分についていない生徒について、さらに家庭と連携しながら本人への面談を綿密に行い、宿題等を徹底してやりきらせていく。また、基礎体力の向上に向けて、体育科と部活動顧問の会議を定期的に行い、練習メニューの改善や共通化をより図り、組織的に継続して取組を進めていく。</p> <p>なお、生徒の自尊感情や自己肯定感等の育成について、地域との連携から、地域への貢献という視点をさらに持ち、行事等のすすめ方を工夫していく。</p>
--------------------	--